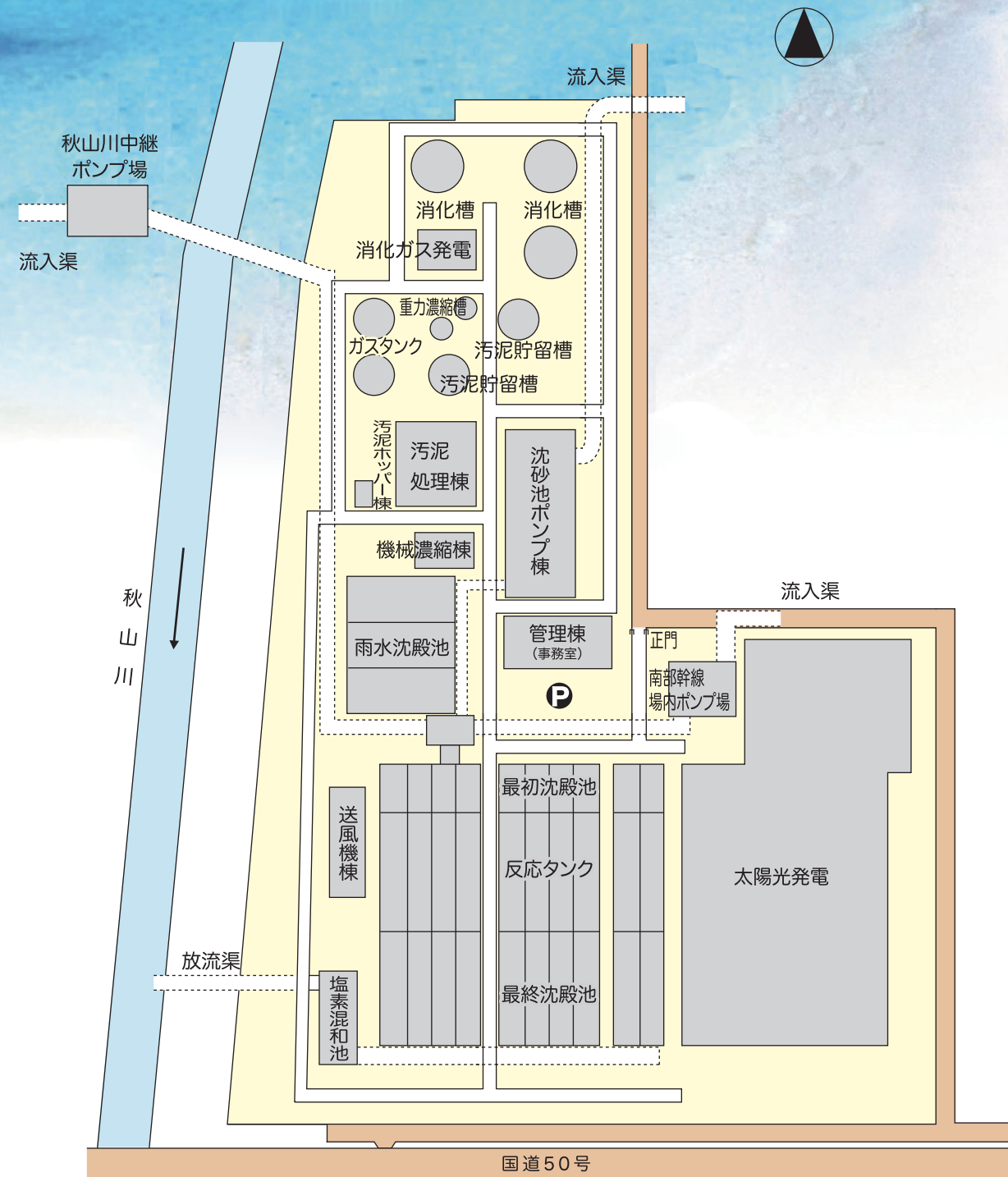


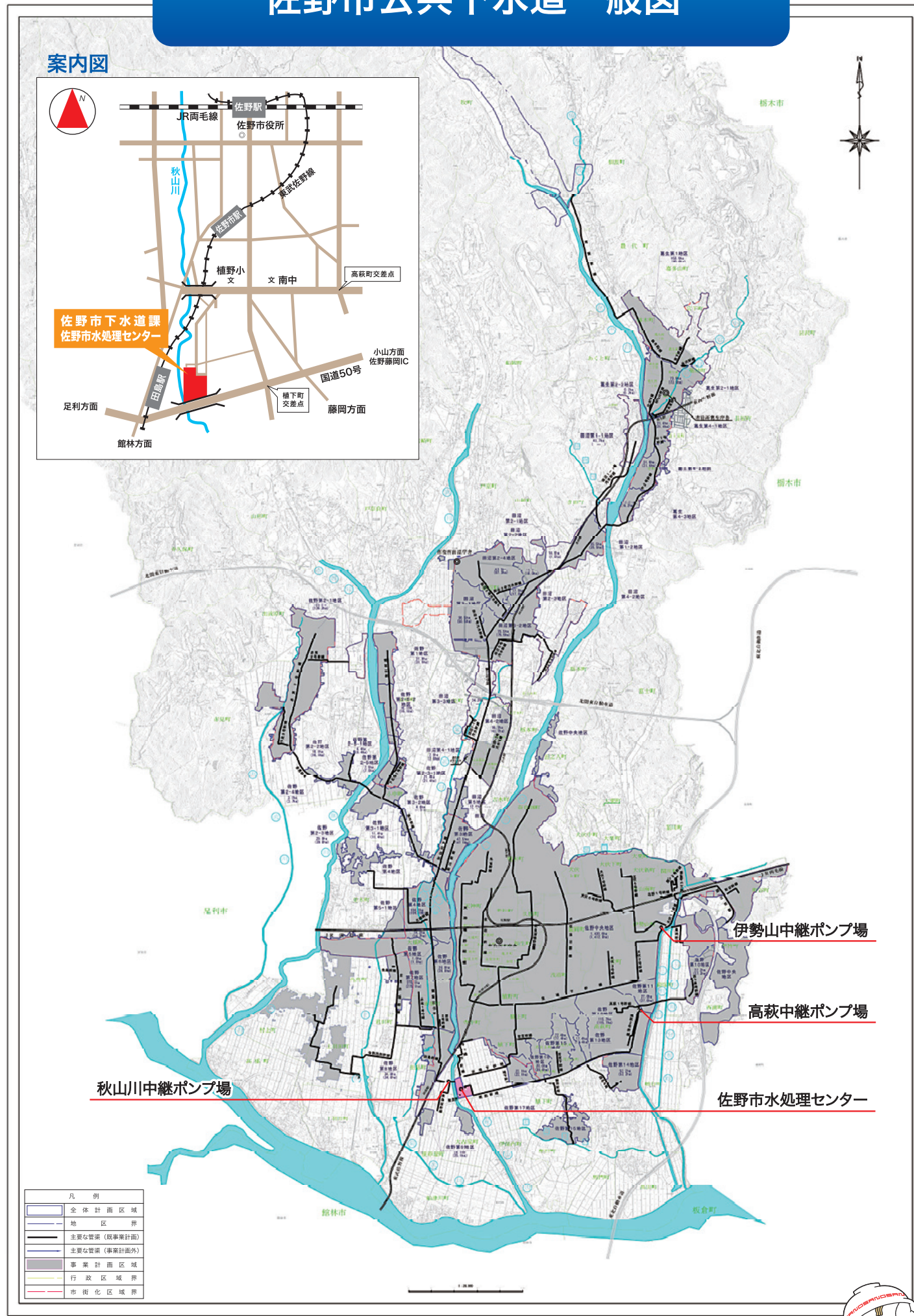
# 配置図及び施設の概要



施設の名称	構造又は能力	数量
沈砂池	巾3.2m × 長15.0m	2池
汚水ポンプ	27m <sup>3</sup> /分	2台
	54m <sup>3</sup> /分	2台
最初沈殿池	巾7.8m × 長22.0m × 深3.0m	8池
	巾9.4m × 長14.7m × 深3.0m	1池
反応タンク	巾8.0m × 長38.0m × 深6.0m	8池
	巾9.6m × 長44.0m × 深6.0m	1池
最終沈殿池	巾15.8m × 長35.0m × 深3.0m	4池
	巾19.0m × 長36.3m × 深3.5m	0.5池
塩素混和池	巾4.5m × 長35.0m × 深3.0m × 3水路	1池
送風機	85m <sup>3</sup> /分	3台

施設の名称	構造又は能力	数量
重水濃縮槽	内径8.5m × 深3.5m	2槽
遠心濃縮機	30m <sup>3</sup> /時	2台
消化槽	径20.0m × 深9.6m	1槽
	径16.5m × 深14.0m	1槽
ガスタンク	1,900m <sup>3</sup>	1基
遠心脱水機	20m <sup>3</sup> /時	3台
秋山川中継ポンプ場	5.3m <sup>3</sup> /分	2台
汚水ポンプ	11.6m <sup>3</sup> /分	2台
高萩中継ポンプ場	1.7m <sup>3</sup> /分	2台
汚水ポンプ	3.2m <sup>3</sup> /分	1台
伊勢山中継ポンプ場 汚水ポンプ	8.7m <sup>3</sup> /分	3台
南部幹線場内ポンプ場 汚水ポンプ	6.2m <sup>3</sup> /分	2台

# 佐野市公共下水道一般図



# 佐野市 水処理センター



# はじめに

佐野市は、栃木県南西部に位置し、万葉の昔から歌に詠まれる三轟山や、市の中心を流れる秋山川や旗川、名水百選の出流原弁天池など、水と緑に恵まれたまちです。

佐野市の公共下水道事業は、こうした恵まれた自然を守り、また、快適な生活環境を創るために、佐野地区が昭和46年度に下水道工事に着手し、昭和51年7月に通水開始しました。その後、平成5年度に田沼地区と葛生地区を加えて、現在も事業を進めています。



# 計画の概要

項目	全体計画	事業計画
1. 計画目標年度	平成38年度	平成34年度
2. 計画面積	3,426ha	3,133ha
3. 計画人口	80,456人	74,270人
4. 日最大計画汚水量	53,730m <sup>3</sup> /日	50,000m <sup>3</sup> /日
5. 排除方式	分流式	分流式(一部合流式)
6. 処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
7. 計画放流水質	BOD:15mg/L	BOD:15mg/L
8. 放流河川名	一級河川秋山川	一級河川秋山川
9. 処理施設敷地面積	6.2ha	6.2ha

平成29年3月現在

# 下水道のはたらき

- ①川がきれいになります。  
生活排水などの汚水は、きれいな水に処理されてから川に返されるため、美しい自然を残していくことができます。
- ②生活環境を改善します。  
生活排水などの汚水が直接、道路側溝等に流れないため、悪臭、蚊やハエ等の発生を防ぎます。
- ③衛生的な水洗トイレが使えます。  
水洗トイレが使えるようになり、衛生的で快適な生活が送れます。

# 下水処理のしくみ

